

本書の特徴

- ▼貴重な北朝鮮の神社をはじめ、台湾、中国、ロシア、東南アジアなど12の国と地域、80社82点の写真を収録。1600社以上とも言われ、いまだ全貌は明らかではない「海外神社」の一端を明らかに。
- ▼各神社の詳細解説を収録し、創建当時の戦前写真と合わせ、大日本帝国当時と現在を比較し、その変遷を問う。巻末には200社以上の海外神社跡地の調査報告リストを収録。
- ▼最新の海外神社跡地の論考は、戦前の植民地支配の実態、戦後の現代史、ひいてはカルチュラル・スタディーズやポストコロニアリズム研究への新たな手がかりに。
- ▼高速道路や東日本大震災をテーマに、ランドスケープの現在と向き合ってきた写真家による最新作品集として、現代写真のひとつの在り方を問う側面も。大日方欣一氏による写真論を収録。
- ▼神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センターの「海外神社跡地のその後」班メンバーによる最新の成果。



非文字資料研究叢書②

「神国」の残影

海外神社跡地写真記録

〔著〕稲宮康人・中島三千男

体裁：A4判横・上製・160頁予定
ISBN978-4-336-06342-7

定価：本体 7,800円＋税

2019年9月刊行予定

◆書店外商のみなさまへ

本書は、幅広い分野での活用が期待されます。複数の大学学部、関連施設への販売促進をお願いします。

- ・日本近現代史、アジア太平洋史、軍事史
- ・植民地研究、ポストコロニアリズム研究
- ・経済・産業史、外交・行政史
- ・神道文化、宗教史・思想史
- ・カルチュラル・スタディーズ
- ・現代写真史、芸術史
- ・公共図書館、美術館、博物館、郷土資料館 など

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15 Tel.03-5970-7421 Fax.03-5970-7427
<http://www.kokusho.co.jp> e-mail:info@kokusho.co.jp

帳合・書店印

申込書

この注文書で最寄りの書店へお申込みください。

国書刊行会

『「神国」の残影』（ ）部 申込みます。

お名前

ご住所

電話
FAX

非文字資料研究叢書②

「神国」の残影

海外神社跡地写真記録

〔著〕稲宮康人・中島三千男

大日本帝国時代に創建された「海外神社」のいま――

公園で遊具となる鳥居、ジャングルに佇む鳥居、あるいは学校や教会にかわっても、その参道、石灯籠はかつて神社であったことを物語る……。気鋭の写真家の10年に及ぶフィールドワークの集大成。近現代史の知られざる側面に光をあてる最先端の論考。

写真：稲宮康人 《泉神社》サイパン島、2015 ジャングルの中に基壇、鳥居等が残る



サイパン島から
北朝鮮まで
貴重写真
80点以上！
他資料写真80点余

国書刊行会

刊行にあたって

アジア・太平洋戦争で敗北するまで、大日本帝国では国家神道が核心的な位置を占めていた。日本人の行くところに神社があった。明治以降、邦人安穩祈願のため、また版図拡大の皇民化政策として創建されたのが「海外神社」である。その数は1600社以上とも言われ、いまだ全貌は明らかではない。

1945年の大日本帝国の終焉とともに「海外神社」は廃絶した。現地人の放火・略奪、またその混乱をさせて日本人の手で破却されたものも少なくない。その後、それぞれの国の社会体制の中で、朽ち果てていくもの、一部が利用されるもの、再建されるものなど、独自の歴史を刻んでいくことになる。

本書は写真家・稲宮康人が台湾、中国、韓国、北朝鮮、ロシア、フィリピン、サイパン島など、14の国と地域をめぐる、200社の海外神社跡地を10年かけて撮影してきた写真と、長年海外神社跡地の調査を続ける中島三千男の最新の論考で構成。戦前の植民地支配の実態、戦後のそれぞれの現代史、ひいてはカルチュラル・スタディーズやポストコロニアリズム研究への新たな手がかりとなろう。

各神社の 祭神や格式から 歴史や現況まで 詳細に解説。

海外神社の跡地 写真はフルカラー。 貴重写真 80点以上。

いなりややすと
稲宮康人
1975年生まれ。中央大学文学部史学科国史学専攻卒、日本写真芸術専門学校卒業。神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター研究協力者。大判フィルムカメラを担ぎアジア各国を撮影する。写真展『「くに」のかたち——HIGHWAY LANDSCAPES OF JAPAN』(新宿・大阪ニコンサロン、2007)で第9回三木淳賞受賞。著書：『帝国後 海外神社跡地の景観変容』『「大東亜共栄圏」の輪郭をめぐる旅 海外神社を撮る』。

なかじま み ち お
中島三千男
1944年福岡県生まれ。京都大学文学部史学科国史学専攻卒、同大学院文学研究科国史学専攻博士課程単位取得退学。神奈川大学元学長、現在名誉教授。専門は日本近現代思想史。神奈川大学日本常民文化研究所客員研究員、同非文字資料研究センター客員研究員。著書：『天皇の代わりと国民』『概論 日本歴史』『海外神社跡地の景観変容——さまざまな現在』『若者は無限の可能性を持つ——学長から学生へのメッセージ』等。

収録内容

〈写真篇〉 稲宮康人

〔台湾〕

台中神社

台湾神宮

台湾護国神社

台南神社

嘉義神社

新城市

員林神社

佳冬神社

新竹神社

鹿野神社

霧ヶ岡神社

〔韓国〕

朝鮮神宮

京城神社

龍頭山神社

慶州神社

小島神社分社

江原神社

公州神社

東山神社

京城護国神社

大邱神社

扶餘神宮

松汀神社

〔北朝鮮〕

平壤神社

鎮南浦神社

〔ロシア〕

樺太護国神社

〔中国〕

文官屯神社

濟南神社

建新廟

鞍山神社

建国忠靈廟

加能神社

永安神社

哈爾濱神社

吉林神社

大連神社

營口神社

牡丹江神社

佳木斯神社

滿洲諏訪神社

北京神社

上海神社

太原神社

汕頭神社

南京神社

青島神社

杭州神社

厦門神社

九江神社

蒙疆神社

蒙疆神社

南興神社

〔サイパン島〕

〔ミクロネシア〕

都洛神社

〔日本〕

沖繩神社

北海道神宮

豊原神宮

靖国神社

近江神宮

赤間神宮

名和神社

阿部野神社

〔論考篇〕

海外神社跡地の論考

中島三千男

「くに」という主題系

——写真家稲宮康人の探究

大日方欣一

図版解説

稲宮康人



台中神社／創建当時



台中神社／2009年撮影

当時の写真も掲載。
現在と比較することで、
その変遷を
わかりやすく示す。



18 平壤神社
駐米韓領事館
北朝鮮・平壤特別市
1913 (大正2) 年1月1日撮影
2014年9月10日撮影



19 台湾神社
学生少年会館
北朝鮮・南浦市
1904 (明治37) 年12月撮影
2014年9月15日撮影